

茨城ビルメンニュース

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



「水戸 偕楽園」 茨城県「いばらきフォトダウンロード」より

日々の学びと情報共有で、 組織力や技能の向上を図ろう

Contents

- | | | | |
|---|---|----|--------------------|
| 2 | 令和7年 新春賀詞交歓会 開催 | 9 | 令和7年度 主要事業・行事の開催予定 |
| 7 | 「令和6年度 ビルクリーニング技能検定
(1級) 受検準備講習会」 開催 | 9 | 理事会だより |
| 8 | 令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業
(清掃スタッフ講習) の実施報告 | 9 | 各委員会だより |
| | | 10 | 私の楽しみ (はなしのリレー) |
| | | 11 | 編集後記 |



新春賀詞交歓会開催



令和7年 新春賀詞交歓会が、1月16日(木)午前11時から、「ホテル レイクビュー水戸」において約100名の皆様のご出席をいただき、盛大に開催されました。

はじめに、主催者を代表して当協会 塚越会長が新年のあいさつを行い、その中で、労働生産性の向上とともに、価格転嫁に努め、適正な利潤を確保し、働く方々が誇りと魅力を感じられる業界としていくこと、そのために今年の協会のスローガンを「日々の学びと情報共有で、組織力や技能の向上を図ろう」とすることが表明されました。

続く祝宴は和やかな雰囲気の中、ご来賓並びに会員の皆様方が新年のごあいさつや意見交換など、大変活発な交流が行われ、懇親を深めることができました。

新年のお忙しい時期にも関わらず、たくさんの方にご出席をいただきまして心より感謝申し上げますとともに、会員各社のますますのご発展をご祈念いたしまして、賀詞交歓会の報告といたします。

次第

司会：増田理事

- 1 開会のことば 川上副会長
- 2 会長あいさつ 塚越会長
- 3 来賓ご祝辞
 - 茨城県知事 大井川和彦 様
 - 自由民主党茨城県支部連合会 幹事長 白田 信夫 様
 - 茨城労働局 労働基準部長 江口 勇次 様
- 4 来賓ご紹介
- 5 鏡開き
- 6 乾杯 鴨志田警備業協会会長
- 7 祝宴
- 8 中締め・閉会のことば 石田副会長



司会
増田理事



開会のことば
川上副会長



中締め
石田副会長



ご祝辞 自由民主党茨城県支部連合会
幹事長 白田 信夫 様

ご来賓名簿

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 茨城県知事 | 大井川和彦 様 |
| 自由民主党茨城県支部連合会 幹事長 (茨城県議会議員) | 白田 信夫 様 |
| 茨城県保健医療部 理事兼次長兼医療局長 | 砂押 道大 様 |
| 同部 生活衛生課長 | 仁藤 健二 様 |
| 茨城労働局 労働基準部長 | 江口 勇次 様 |
| (公社) 全国ビルメンテナンス協会 会長 | |
| 並びに (公社) 東京ビルメンテナンス協会 | 会長 佐々木浩二 様 |
| (一社) 茨城県警備業協会 | 会長 鴨志田 聡 様 |
| (一社) 茨城県ペストコントロール協会 | 会長 岡村 太郎 様 |
| (一社) 茨城県貯水槽維持管理協会 | 副会長 関 茂 様 |
| 茨城県管工事業協同組合連合会 | 会長 石田 賢司 様 |
| (公社) 茨城県シルバー人材センター連合会 常務理事兼事務局長 | 長山 優 様 |
| (公財) 茨城県生活衛生営業指導センター 専務理事 | 渡邊 真司 様 |
- (順不同)





あいさつ

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 塚越 俊祐

改めまして、明けましておめでとうございます。
会員の皆様方には、新春をすこやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本日は、ご多忙中にも関わらず、茨城県知事 大井川 和彦 様、自由民主党茨城県支部連合会 幹事長 (茨城県議会議員) 白田 信夫 様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に発生した能登半島地震や記録的な猛暑、台風による豪雨被害などの自然災害が非常に身近なものとなっております。

能登半島では地理的条件により、幹線道路が片側通行の場所が多く、砂や石などの資材運搬の遅れや被災した建物の解体・撤去も進んでない映像がテレビニュースなどで流れております。

また昨年は、大谷翔平選手がメジャー初の「50本塁打、50盗塁」を達成、パリオリンピックの陸上女子やり投げで北口榛花選手の金メダルをはじめ夏季五輪で過去最多となるメダル45個獲得と若者が活躍した一方、「闇バイト」事件等若者による犯罪が多くありました。景気については、緩やかに回復しているとのことですが、実感が伴っていないと感じております。

このような中、協会事業につきましては、会員企業の皆様のご協力と、総務、広報、労働安全衛生、建物衛生、設備保全の各委員会のご尽力により、計画しました全ての事業を実施することができました。

その中で、新規事業として、10月にビルクリーニング技能士の国家資格取得を目指すきっかけづくりとして、「ポリッシャー実技講習会」を土曜日に2回開催いたしました。参加者が少なかったので、この場をお借りしてPRさせていただきました。

人材育成の中核事業となる「ビルクリーニング技能検定受検準備講習会」については、受講者5名でしたが、建物衛生委員会で経費節減にいろいろと工夫していただき、11月に無事、開催することができました。

この他にも、人手不足や生産性向上に対応す

るための「設備技術者研修会」、「労働安全衛生大会」、年3回の「会員相互のコミュニケーション促進事業」を開催しました。

これらの取り組みについては、8月、12月に発行した「茨協ニュース」で、会員の皆様をはじめ、各県協会や保健所等の関係機関、警備業協会等関係団体に対し、広報したところでございます。

各種事業に積極的にご参加いただきました会員の皆様のご協力、ご支援に、改めまして、深く感謝申し上げます。

さて、ビルメンテナンス業界を巡る経営環境を見ますと、物価や賃金の上昇とともに、急激な人口減少に加え、業界の担い手である「団塊の世代」全ての方々が75歳以上となるなど、人手不足の一層の深刻化が見込まれます。

この厳しい経営環境を克服していくためには、労働生産性の向上とともに、価格転嫁に努め、適正な利潤を確保して、働く方々が誇りと魅力を感じられる業界にしていかなければならないと考えます。

そのためには、お客様から高く評価していただけるよう、社員の能力開発・人材育成を進めていくことが極めて重要と考えます。

協会の令和7年のスローガンを、「**日々の学びと情報共有で、組織力や技能の向上を図ろう**」とします。

日常的な業務の効率化や新しい技術情報を社内でも共有することはもとより、差し支えない程度で協会へも作業方法や情報を会員会社から発信していただき、茨城県のビルメンテナンス会社の組織力や技能レベルを向上させることにより、発注者の団体や企業から高く評価していただけるよう、提唱するものです。

協会としましても、エッセンシャルワーカーとして、その責務を果たしていけるよう、人材育成や各種情報提供等に全力で取り組んでまいりますので、会員の皆様には、様々な研修機会を活用し、社員の更なるスキルアップに取り組まれるよう、ご配慮をお願いいたします。

今年の干支は巳年、成長や変革、新たな挑戦や変化を遂げる年と言われております。

今年は、円安等による物価上昇も収まり、価格転嫁や賃金引上げがスムーズに進むことで、経済の好循環が実現され、我がビルメン業界もさらに発展していくことを大いに期待したいと思います。

結びに、本日ご出席の皆様方のご多幸と、会員各社のますますのご発展をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



来賓ご祝辞

茨城県知事
大井川 和彦 様

今日は、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

塚越会長をはじめ、皆様方には、日頃から、建築物や設備の適正な管理、保安警備など、利用者が安全で快適に過ごせる空間づくりにご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第です。

昨年は、物価の高騰が続く中、約30年ぶりとなる株価の史上最高値更新、「金利のある世界」への回帰など、我が国経済がデフレ脱却への転換点を迎える、大きな変化の年でありました。一方、「2024年問題」がクローズアップされるなど、様々な場面で人手不足の問題が顕在化し、人口減少の影響が身近なものになった年でもありました。

私は就任以来、こうした人口減少社会の到来を見据え、先手先手で経済の活性化などに取り組んできた結果、昨年公表された2021年度の県民経済計算の推計結果において、本県の経済成長率は国を大幅に上回り、一人当たり県民所得は過去最高の全国第3位となりました。

また、県外企業立地件数は7年連続で全国第1位となったほか、総務省の人口動態調査では、過去5年間にわたり外国人を含めた人口の「社会増加数」、「増加率」ともに全国上位で推移するなど、本県が人口減少に打ち勝つための重要な成果が次々と表れてきております。

本年は、本県経済の成長を更に加速させるため、適切な価格転嫁と賃上げの両立により経済が好循環する環境づくりや戦略的な企業誘致などに取り組むとともに、安心安全につながる生活基盤の充実のほか、優秀な外国人材の確保・育成や生活・教育環境の整備など、多様な人材が活躍する社会の実現に力を入れてまいります。

こうした中、皆様方におかれましては、外国人材の活用に向けた講習会や清掃機器の実技研修会を開催されるなど、業界全体の人材確保・育成や生産性の向上に積極的に取り組まれており、大変心強く感じております。

県といたしましては、本年も、変化を恐れず、新たな挑戦を続け、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会のますますのご発展と、本年が皆様方にとりまして、実り多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



令和7年1月18日(土)付 日本工業経済新聞



来賓ご祝辞

茨城労働局 労働基準部長

江口 勇次 様

ただいまご紹介に預かりました茨城労働局労働基準部長の江口でございます。

皆様、新年明けましておめでとうございます。

本日は、茨城県ビルメンテナンス協会、令和7年賀詞交歓会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃より私どもが推進しております労働条件確保改善及び労働災害防止のための取組にご協力いただいておりますことについて、この場を借りて感謝申し上げますとともに、本年度も引き続き労働局の取組にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、県内の雇用情勢ですが、茨城県内の有効求人倍率は、昨年11月末時点で1.32倍となっており、全国で16番目の水準となっております。

雇用情勢としては、求人が求職を上回って推移しているものの、改善の動きが弱まっており、引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響を注視しながら、労働局としては、適切に対応してまいりたいと考えております。

労働災害につきまして、令和6年における県内の労働災害発生状況は、12月末の速報値で、休業4日以上死傷者数は2,598人で前年比4人の減少、死亡者数は22人で前年比1人の減少と、それぞれわずかながらも減少することができたところですが、より一層減らしていくためにも、引き続き労働災害防止対策を進める必要があります。

化学物質管理に関しまして、来月2月を第1回として、毎年2月を「化学物質管理強調月間」と定めまして、適切な取組を推進することとしております。化学物質は、製造業だけでなく、家庭生活を豊かにする上でも役立つもので、国内で製造・使用等されているものだけで数万種類にのぼりますが、化学物質による労働災害は、

洗剤・洗浄剤といった特に規制の対象となっていないものによるものが多く含まれています。こういった労働災害を防ぐためには、取り扱っている化学物質を把握・理解し、管理していただくことが重要です。本月間のスローガンは、「正しく理解 正しく管理 化学物質と向き合おう」となっております。この機会に、化学物質管理者の選任、取り扱っている化学物質の確認、不浸透性の保護具の使用等、化学物質対策についてもご対応いただきますようお願いいたします。

社会全体の構造変化、人手不足、労働者の高齢化など、業界を巡る状況としても厳しい面もあると思いますが、茨城労働局としましても、皆様方と一丸となって、安心、安全な労働環境の確保、実現に向けて取り組んでいければと考えております。引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、茨城県ビルメンテナンス協会の会員の皆様のますますのご発展と、本日ご参集の皆様方のますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



令和7年1月20日(月)付 茨城新聞

「令和6年度ビルクリーニング技能検定 (1級)受検準備講習会」開催

令和6年度ビルクリーニング技能検定(1級)受検準備講習会を、11月13日(水)・14日(木)の2日間、「茨城県立青少年会館」において開催しました。



水島委員長
あいさつ

この講習会は、当協会の人材育成事業の一環として、「1級ビルクリーニング技能士」の資格取得を後押しするため、2日間の日程で開催しているものです。

各受講者は、作業工程のDVD視聴後、担当の協会講師の熱心な指導の下で、各検定課題に次から次へと懸命に取り組んでいました。また、講習会会場は2日間貸し切りなので自主練習時間を設けたところ、1日目の講習終了後には、講師に助言された技術を習得するため熱心に自主練習に励む受講者もいました。

1日目は、作業工程を十分把握しきれておらず、各講師から随時指導を受ける姿が見られましたが、2日目になると、作業工程をそれぞれに習得し、スムーズに動けるようになっていました。

講習会終了後に実施したアンケートでは、講習会を受講する前に、検定課題の作業工程の熟知、確認が重要との反省の言葉もありました。

受講者の皆様には、2日間お疲れ様でした。全員の合格を心からお祈りいたします。



<開催概要>

- 1 期 日：11月13日(水)・14日(木) 2日間
- 2 会 場：茨城県立青少年会館 2F 大研修室
- 3 受 講 者：1日目－5社5名
2日目－4社4名
- 4 講習科目：ビルクリーニング技能検定(1級)
課題1 弾性床表面洗浄作業(設営 1コート)
課題2 繊維系床部分洗浄作業(同)
課題3 壁面洗浄作業(設営 1ヶ所)
- 5 指導体制：水島・高橋・山形・横井・鈴木
各協会講師
アドバイザー：谷田部協会講師



令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業 (清掃スタッフ講習)の実施報告

高齢者活躍人材確保育成事業(清掃スタッフ講習)は、当協会が、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会から委託を受け、実施しているものです。

その目的は、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることです。

令和6年度におきましても、1会場当り2日間の日程の中で、受講者に基礎的な清掃技能を習得していただくため、当協会のベテラン講師が懇切丁寧な指導を行い、講習後のアンケートでは、「自在帚をはじめ掃除用具の使い方など本当に勉強になりました」、「清掃は本当に奥が深いと思いました」、「先生の指導が大変上手で楽しく学ぶことができました」等々、多くの受講者から高く評価していただきました。

古河市の会場では、これまで扱ってこなかったポリッシャーを取り入れ、基本的な操作方法を学んでいただきました。

<実施概要>

- 開催の主体：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
- 対象者：満60歳以上でシルバーの会員になり就業できる方
現在シルバー会員で未就業の方
現在シルバー会員として就労しているが職種転換を希望する方
技能講習の全日程へ出席できる方
- 会場数：4会場
- 受講者数：延べ28名
- 講師：延べ8名 実数3名(塩谷・篠崎・鹿嶋各協会講師)
- 内容：清掃の目的、作業従事者の心得、安全と衛生、清掃用具の使い方、トイレ・洗面台・窓ガラス清掃、カーペットのシミ取り等
- 開催会場及び日程等：下記参照



取手市会場



常陸太田市会場



鹿嶋市会場



古河市会場

(写真提供：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会)

市町村シルバー人材センター	実施日程	受講者数	担当講師	開催場所
取手市	7月29日(月)	7	塩谷 文則 篠崎 嘉勝	取手市井野公民館
	30日(火)			
常陸太田市	8月6日(火)	6	篠崎 嘉勝 鹿嶋 史子	常陸太田市シルバー人材センター
	7日(水)			
鹿嶋市	9月3日(火)	7	塩谷 文則 鹿嶋 史子	鹿嶋市総合福祉センター
	4日(水)			
古河市	11月6日(水)	8	塩谷 文則 篠崎 嘉勝	古河市つつみ公民館
	7日(木)			
計 4会場	延べ 8日	延べ28名	延べ8名	

令和7年度 主要事業・行事の開催予定

(令和7年2月19日現在)

担当委員会	事業・行事名	開催日時	会場
	予備監査	5月8日(木) 10:30～	協会 会議室
	監査	5月15日(木) 10:30～	同上
	第5回理事会	5月20日(火) 15:00～	茨城県総合福祉会館 多目的ホール
	第51回通常総会	6月23日(月) 13:30～	ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
	協会創立50周年記念式典・祝賀会	10月29日(水) 14:00～	ホテルレイクビュー水戸 飛天・鳳凰の間
	令和8年 新年賀詞交歓会	令和8年1月14日(水) 11:00～	ホテルレイクビュー水戸 飛天・鳳凰の間
総務	第36回優良従業員表彰	6月23日(月) 13:30～	ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
	会員相互のコミュニケーション促進事業	6月、11月	未定
	BMゴルフ大会 レクリエーション	10月中・下旬	未定
建物衛生	清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	8月29日(金) 9:00～	茨城県総合福祉会館 中研修室
	ビルクリーニング技能検定(1級)受検準備講習会	11月下旬(2日間)	中央ビル(水戸市泉町) 会議室
	高齢者活躍人材確保育成事業(清掃スタッフ講習)	未定	未定
	ポリッシャー実技講習会	未定	未定
設備保全	設備保全技術者研修会	9月25日(木)	茨城県総合福祉会館 中研修室
労働安全衛生	労働安全衛生大会	10月8日(水) 13:30～	茨城県総合福祉会館 コミュニティホール
広報	茨協ニュースの発行	8月1日、12月1日、令和8年3月1日	

※ 令和7年度の主要事業・行事については、3月25日(火)開催の「第4回理事会」にて正式に決定されます。

理事会だより

第9回常任理事会

- 日時** 12月3日(火) 17:00～17:35
場所 中川楼
出席者 塚越会長、川上・石田副会長、増田・根本・佐々木・水島各常任理事
 事務局(後藤専務理事)
議事 (1)令和7年新春賀詞交歓会の運営(案)について
 (2)今後の主要行事について
 (3)報告事項について
 (4)その他



第10回常任理事会

- 日時** 2月19日(水) 14:55～16:30
場所 協会会議室
出席者 塚越会長、川上・石田副会長、増田・大野・佐々木・水島各常任理事
 事務局(後藤専務理事、田山)
議事 (1)令和6年度収支関連報告について
 (2)令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 (3)今後の行事・日程等について
 (4)賛助会員の入会について
 (5)事務職員の定年に伴う再雇用について
 (6)協会創立50周年記念事業について
 (7)その他



各委員会だより

広報委員会

- ◇ 第6回委員会
日時 2月4日(火) 14:55～15:40
場所 協会 会議室
出席者 石田副会長、根本委員長、館副委員長、海老根・大部・津田各委員
 事務局(後藤専務理事、田山)
議事 (1)茨協ニュース(第121号)の発行について
 (2)その他



編集会議

- 日時** 2月25日(火) 14:55～15:30
場所 協会 会議室
出席者 石田副会長、根本委員長、館副委員長、海老根・大部委員
 事務局(田山)
議事 (1)茨協ニュース(第121号)の編集作業について
 (2)その他



はなしの リレー

疲労回復やストレス解消！ サウナの魅力

高橋興業株式会社
登坂 大希

常にストレスや疲労に悩まされている社会人にとって、ストレス解消や健康管理は重要な課題となっており、健康・体調管理には、気をつけたいところです。

現在は、空前のサウナブームとなっており、私もサウナの魅力に取りつかれた男で、生活の一部としてサウナを楽しんでいます。仕事のストレスや疲れで悩むようになったことをきっかけに、ストレス解消のためサウナに通うようになりまして。6年ほどサウナに通うようになってからは、頭の中にある悩みやモヤモヤした気持ちさが少しずつかわらいでいき、メンタル維持ができています。



サウナの魅力について、私なりに5つ挙げたいと思います。

- ・爽快感、リフレッシュ効果がある。
- ・自律神経が整ってメンタルが安定する。
- ・良質な睡眠が取れるようになる。
- ・細胞再生の活性化により、免疫力アップとなる。
- ・ご飯がおいしく感じられる。

サウナに入ると驚くほど疲れがとれて、体が軽く感じるほどです。これを「ととのう」といいますが、「ととのう」とは、心と身体がリフレッシュされた、調和の取れた理想的な状態のことを指します。サウナは基本的に「サウナ→水風呂→休憩」を1セットとし、複数回繰り返しますが、これによって「ととのった」状態になることができます。サウナで温まり、自律神経が働いて血流がよくなることで気持ち良さを感じ

じるようになります。人によって違いはありますが、フワフワした感覚、いわばトランス状態といわれます。



このような感覚が「ととのう」という状態で、ランナーズハイにも似ているかもしれません。

また、サウナには、様々な効果があり、第一に、身体の代謝が上がり、老廃物が排出されます。また、血行が良くなることで、肌の改善や疲労回復にも効果があります。さらに、精神的なリフレッシュ効果も期待できます。その効果により、効率的に仕事に取り組めるようになります。私も、そんなことはないと思っていましたが、今では、その効果に驚いています。

サウナが私の仕事に与える影響は、想像以上に大きく、仕事への取り組み方やパフォーマンスに新たな活力をもたらし、健康的な身体作りはもちろんのこと、気持ちを切り替えることのできる場となっています。このように、私にとってサウナと仕事は、密接な繋がりがあり、重要な役割になっています。心身のリフレッシュ、ストレスの解消、健康維持など、多岐にわたる恩恵を受けながら、日々の業務に取り組めており、これらの恩恵は、仕事のパフォーマンス向上や生活の質の向上に大きく貢献して、サウナを活用することは価値のある取り組みだと思っているので、今後も継続していこうと思っています。

私たちが住んでいる街には、魅力ある温浴施設やサウナ施設が多々あります。是非、皆さんも、この機会にサウナで「ととのって」みてはいかがでしょうか。

次回は、株式会社 裕生 つくば営業所
高田 和浩 様をお願いいたします。



編集後記

浅春の候、皆様いかがお過ごしですか？

早いもので、もう年度末の3月です。春の日差しも心地よい季節になりました。

ご家族の卒業など、新生活が始まる方も多いかと存じます。

2025年1月には、アメリカでトランプ新大統領が就任し、早々に100件を超える大統領令に署名をしました。予想通りに、関税政策等自国第一主義を掲げてもすごいスピードで世界に影響を与えています。個人的な評価はさておき、現在の事象は、考えて反応する余裕を与えてくれません。私自身年齢とともに反射速度が格段に遅くなっていると骨身にしみています。

私事ですが、この茨協ニュースの「はなしのリレー」に感化されまして、軽い運動に挑戦しようと筑波山に登山に出かけました。筑波山梅まつりも開催されており、爽快な気持ちで登りきり、さあ後は下山のみという時に、勢い良すぎて右足首を捻挫してしまいました。幸いに靴紐をきつく縛りなおして無事下山できましたが、体力だけが唯一の自慢の私がかかるとは情けない限りです。いつもならぐらつく石にとっさに反応できていましたが、今回は全く対応できませんでした。

皆様は、ご自身のことを十分に理解して運動されるので、このようなことは無いと思いますが、健康管理・安全管理が我々ビルメンテナンス事業にとって重要なことだと考えておりますので、くれぐれもご注意ください。

茨城県ビルメンテナンス協会は2025年1月で発足50年を迎えました。今期も引き続き会員の皆様におかれましては、記念誌の作成等広報活動にご協力いただきますよう、改めまして宜しく願い申し上げます。

シナネンアクシア株式会社 津田 尚彦





今号の編集者

副会長	石田 篤史 (株)サンアメニティ茨城支社)
委員長	根本妃美子 (株)暁恒産)
副委員長	舘 由紀夫 (新生ビルテクノ(株)北関東支店)
委員	海老根秀二 (関東ビルサービス(株))
同	大部 浩 (茨城グローブシップ(株))

責任者	会長	塚越 俊祐
編集責任者	広報委員長	根本妃美子
発行回数	年3回	
印刷所	有限会社クリエイティブサンエイ	

発行所
茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
TEL 029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail ibmal@ceres.ocn.ne.jp

<https://www.ibaraki-bma.or.jp/>

今号の表紙

水戸偕楽園では、2月11日から3月20日まで「水戸の梅まつり」が開催されています。見頃は2月下旬から3月中旬とのこと。 (2月12日現在)